

1 (株)札幌リゾート開発公社への出資目的

「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として、社会開発の推進の中、環境破壊等から市民を守り、豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として出資をしている。

2 札幌市として出資を継続したい理由（結論）

- 札幌市との施策の関連性**
- 公社は、定山溪振興をはじめとした札幌市の各計画・施策と密接に関連しており、札幌市の施策について機動的かつ弾力的に補完・代行機能を果たしてもらうためには、出資の継続による札幌市のコントロールが必要。
 - 平成16年度以降、公社の経営改善が最優先課題であったが、経営状況が安定化しつつある中、公社が札幌市の施策について補完・代行機能を果たすことが可能になってきたところ。
- 定山溪地域との連携**
- 定山溪振興に当たっては、地域全体の理解・協力を得るために公共性、公益性を持った事業主体の参画が望ましく、営利目的に資する民間企業ではなく、出資団体が事業実施主体となることが適している。
 - 現在、3者（札幌市、札幌リゾート開発公社、定山溪観光協会）の一致協力で定山溪振興を図っているが、出資を引き揚げた場合、札幌国際スキー場及び定山溪温泉の双方で利用できる割引制度など地域振興に資する事業が継続できなくなる可能性がある。
 - 定山溪エリアは、都心部からの交通アクセスが良く、温泉と雪質に優れたスキー場が近接する世界的に稀なエリアであり、スノーリゾート地域としてのセールスポイントとなり得ることから、定山溪観光協会と公社の一体的な魅力創出・発信が必要。

- インバウンド増大**
- 近年、札幌には多くの外国人観光客が訪れていることに加え、消費志向が「モノ消費」から「コト消費」にシフトしてきていることから、インバウンドに対する冬のアクティビティの更なる充実を図るためにも、札幌リゾート開発公社の活用が必要。
 - 札幌市観光まちづくりプランでは、新たな重点施策として、欧米市場への誘客プロモーションを掲げているところで、道内スキー場を訪れる欧州からのスキー客は年々増加しており、公社の役割が高まっている。

- 市民利用の促進**
- 閑散期である冬期間の観光客増加を図るためには、市民自らがスノースポーツを楽しみ、魅力を発信することが重要であり、出資団体として市民に利益を還元し、市民がスキーを気軽に楽しめる環境を構築することが必要。

- 出資引き揚げの影響**
- 他都市の事例では、スキー場経営を民間事業者のみに委ねると、必ずしも地域との連携が担保できないこと、スキー利用料金の高騰が予想されることなど、市民サービスの低下が懸念され、市民がウインタースポーツに親しむ環境を確保できない可能性がある。
 - 同様のスキーリゾートを有するニセコ町では、民間の経営に伴う世界水準の料金設定により、スキー料金が高騰したため、町が財政負担（スキー料金補助）を行い、住民にスキー利用の補助制度を実施。ニセコ町ではこのように住民サービスを維持しているが、札幌市が同様の負担を行うことは都市の規模的から困難。（札幌市では年間3億円程度の財政負担が発生（※5～14歳人口約15万人に対し価格上昇分2000円で換算））
 - 経営改善を優先したため、株式の無配当や株主企業との業務提携不足などが見られ、他の出資者も引き揚げる可能性がある。

以上のことから、経営状況については安定の兆しが見えつつあるものの、今後計画されている設備更新の実施時期等を考慮し、当面、出資を継続する。併せて、札幌国際スキー場及び豊平峡と定山溪地域の周遊状況をICTを活用して調査し、定山溪魅力アップ構想の目標達成状況などを評価した上で、定山溪地域全体の振興の在り方を検討する中で、札幌リゾート開発公社の役割や出資継続の必要性を改めて判断していく。

3 公社の活用と関連する札幌市の施策

- 1 関連計画等**
- **札幌市観光まちづくりプラン（改訂版）**
 - 目 標 像
 - 今後は、市民が札幌の多彩な魅力を探訪し楽しむことこそが、訪れる人々にとっても魅力を感じる観光資源となりうるものであり、また、その魅力を市民自らが発信することが観光振興につながるものと考える。
 - 【基本方針1】四季それぞれのアウトドアレジャーやスポーツの楽しさを、体験観光コンテンツとして活用…①
 - 【重点施策4】札幌国際スキー場や豊平峡などの周辺の観光資源との連携による周遊の促進と地域経済の振興…②
 - **定山溪観光魅力アップ構想**
 - 目 標 像
 - 温泉街としての魅力の磨き上げと定山溪エリアとしての魅力の創出の2つを主軸に、官民一体で取組を推進
 - 【基本方針2】定山溪温泉街をハブ（拠点）とした周遊観光資源との回遊性向上…③
 - **その他の計画等**
 - **札幌市スポーツ推進計画…④**
 - 【施策2】ウインタースポーツを楽しむ機会の充実
 - 【施策15】スポーツをいかした産業への取組を支援
 - **札幌市ICT活用戦略…⑤**
 - 【基本施策2-1】観光客の行動データ等を収集・分析し、活用を図る事業を産学官の連携により推進

2 施策実現の推進に向けて「公社を活用した取組」と「今後、公社を活用する取組」

取組内容		関連施策
実施中	【主に札幌市民に向けた取組】スキー場の料金設定、市民割引	
	市民がスキーに親しむ基幹施設として、料金設定などに配慮しながら運営	① ④
	市民利用を促進するため、平成29年度から、市民割引制度を実施	① ④
	市内の児童生徒、教員を対象とした体験学習を推進するための積極的なスキー学習の受入	① ④
	【主に観光客に向けた取組】温泉・スキーバック	
	豊平峡や八剱山などの定山溪地区の周遊促進と地域経済の振興	① ② ③
新規	年間を通じた定山溪の活用	
	7月～9月に定山溪温泉と、豊平峡温泉、豊平峡ダムを結ぶ無料バスを運行	① ② ③
	サマーシーズンにおけるスキー場のグレンデの活用や、ウインタースポーツのアスリート育成を目的とした取組を検討	① ③ ④
	ウインターリゾートとしての情報発信の充実	
	インバウンドに対するスキーなどといった冬のアクティビティに関して、新たなコンテンツを発信	① ④
	ICTの活用	
	定山溪温泉街とスキー場の人流をICTを活用して調査し、温泉街からの周遊を促す取組に繋げていく	① ⑤
	ウィンターシーズンのシャトルバス運行	
	ウィンターシーズンに定山溪温泉と札幌国際スキー場を結ぶシャトルバスを運行	① ② ③ ④